

「北陸電力グループの羅針盤(クオバディス)2010」(中期経営方針)

北陸電力グループでは、これまで新たな市場競争時代の到来と志賀原子力2号機の運転開始が重なる2005年度をターゲットに、グループをあげて経営改革を推進してまいりました。こうした改革の成果により、正念場の2005年度の乗り切りに見通しをつけることができました。

しかし、今後を展望しますと、国際的なエネルギー需給が逼迫し、人口減少や高齢化が進展するなか、電力市場における競争がますます厳しくなるとともに、地球環境保全の重要性も高まるものと思われまます。

こうした経営環境の変化を見据えて、このたび、2010年度をターゲットに、新たな中期経営方針「北陸電力グループの羅針盤(クオバディス)2010」を策定しました。

北陸電力グループでは、「こたえていく。かなえていく。北陸電力」のブランディング・メッセージのもと、直面する課題を先取りし、迅速に対応する「スピード経営」と、社会的責任を全うし、難題にも恐れず逃げず真正面から取り組む「正直経営」を実践してまいります。

羅針盤(クオバディス)2010

【主な経営環境変化】

- ・エネルギー価格の高騰・高止まり
- ・人口減少・高齢化の進展
- ・電力市場における競争激化
- ・地球環境保全への意識の高まり
- ・企業の社会的責任の重要性向上

【目指す企業像】

競争力ある電気事業をコアに総合エネルギー事業を展開し、北陸地域との共存共栄のもと、お客さまをはじめ皆さまから「信頼され選択される企業」を目指します

【経営の方向性】

北陸電力グループの叡智と総力を結集し、原子力の安全・安定運転を大前提に「低廉・良質・安定・クリーン」な北陸電力ブランドの徹底強化と信頼感向上を図り、グループの持続的な成長・発展を目指します

経営の基本方針

「社会的責任を果たし、信頼を高める」と「競争力を培い、企業価値を高める」を基本方針の柱として、たゆまぬ経営改革のもと、以下の重点方針を推進します。

「社会的責任を果たし、信頼を高める」

「安全・安定供給」の万全なる確保

万全な品質管理のもと、志賀原子力の安全・安定運転を徹底し、信頼と安心感を高めるとともに、グループ一体となって設備保全や技術力の維持・向上を図り、電力の「安全・安定供給」を目指す。

「環境先進企業」への積極的な取り組み

原子力の活用を基本に、風力やバイオマスなどの新エネルギーを積極的に推進し、クリーン度の高い電気をお届けするとともに、環境保全に向けた取り組みを強化し、「環境先進企業」を目指す。

「活力と信頼感ある企業」の実現

競争を勝ち抜く人材の育成・強化など、「企業活力の向上」に資する取り組みを進めるとともに、地域との共生に向けた取組みやCSRの実践により、「信頼される企業活動」を推進する。

「競争力を培い、企業価値を高める」

「販売力ナンバーワン」への挑戦

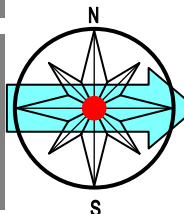
低廉な料金水準のもと、市場競争を勝ち抜く販売活動を強力に推進するとともに、個別提案型技術営業の充実・強化を図り、「販売力ナンバーワン」企業を目指す。

「コスト競争力のトップランナー」の追求

電力の安全・安定供給を大前提に、自律的・継続的に改革・改善に取り組むとともに、管理間接業務の効率化・スピード化を図り、「コスト競争力のトップランナー」を目指す。

「グループ連携の強化」による総合力の向上

グループ総合力の向上を目指し、経営資源の最適活用を図るとともに、電気事業に関連する業務のグループ一体運用を推進するなど、「グループ連携の強化」を図る。



経営目標

利益目標(2006～2010年度平均)

連結経常利益 400億円以上
連結ROA(税引後営業利益/総資産) 3%以上

財務改善目標(2010年度までに)

連結有利子負債残高 6,500億円以下
連結株主資本比率 30%以上

業務効率化目標(2010年度までに)

業務効率向上(2004年度対比) 20%以上

販売拡大目標(2005～2010年度累計)

開発販売電力量 20億kWh以上

環境目標(2010年度)

CO2排出原単位(1990年度対比) 20%削減